

原胤昭 はらのぶあき 社會事業家、隨筆家。嘉永六年二月一日江戸生れ、昭和十七年二月二十三日歿（八五三―一九四二）。維新後東京府吏員となり、横濱の高島學校、築地大學校の共學を修める。明治五年書店十字屋を創業し、七年受洗。九年成樹學校（俗稱原女學校）を開設。十七年福島事件の連坐しく下獄。二十一年出獄人保護事業の奮る。著書に『猶太國地人名抄』（明治十年十二月一日版權免許・十字屋藏版）、『可憐しがれたる者の呻き』（昭和二年十月一日私家版）、『前科者はナゼ又行るか』（昭和八年六月九日私家版）等。

